



特集1

# 考古博物館開館25周年記念 第25回特別展 「世界遺産ナスカ展」

— 県立考古博物館 —

山梨で人々がそろそろ稲作というものを知る弥生時代から、甲斐銚子塚古墳など支配者の巨大な墓が作られる古墳時代、ちょうど紀元前一世紀から紀元後七世紀にかけて、太平洋を隔てた日本の裏側、南米ペルーの海岸地帯ではナスカ文化が栄えていました。

ナスカの人々は人物や神、動物など、さまざまな形のユニークな土器を作り、色鮮やかな織物をまとい、農業や狩猟、漁労をして暮らしていました。このナスカ文化を一躍有名にしたのは、彼らが海岸沿いの荒涼とした平地に、八百平方キロの広さにわたって描いた巨大な「ナスカの地上絵」の存在です。いったい彼らはなぜ、何のために描いたのでしょう。ナスカの地上絵は未だに解けない謎として現代の私たちを魅了し続けています。

山梨県立考古博物館では、本年十一月に開館25周年を迎えることを記念して、このナスカ文化、ナスカの地上絵の謎に迫る特別展「世界遺産ナスカ展 地上絵の創造者たち」を開催します。この特別展では、地上絵を描いたナスカの人々の多彩な暮らしぶりをはじめ、実際のナスカ人のミイラなどをご紹介します。このほか、体感型パーチャルシアターでは、最新技術を駆使し、地上絵の遊

覧飛行を楽しむことができます。

ここから、展示の概要と主な展示品、見どころをご紹介します。展示は大きく二つに分かれ、第一章は「ナスカー砂漠からのメッセージ」としてナスカの人々の暮らしを紹介します。山梨でも発掘調査でさまざまな土器が見つかるように、ナスカでも多くの土器が作られ、使われてきました。土器の表面には農作業や漁をする男性の姿やシャーマン、植物や鳥など、実に多くのものが描かれています。それだけでなく、土器の形にも注目してください。土器そのものが人間の形をしていたり、サルの形をしていたり、碗の形と魚の模様が一緒になっていたり、ナスカの人々のユーモアあふれるセンスや造形の細かさには驚かされ、本当に土器なのかと疑いたくなるほどです。これらは顔料と粒子の細かい砂と水を混ぜた液体を土器の全体や一部にかけ、それから焼いたものです。土器に描かれたモチーフはナスカの人々の身近にあったものと思われ、その種類の豊富さは複雑な地形と気候に育まれたナスカ文化の特徴をよく表しているといえます。今でも私たちの身近にいる動物たちを、ナスカの人々がどのように見ていたのか、ぜひご覧になってください。



魚模様の碗

また、今回の特別展ではナスカ時代（今から約千三百年前）の子供のミイラを展示することができました。展示にあたってミイラを包んでいた布が取り外され、なんと瞳がはつきりとわかる顔が千三百年ぶりに現れました。ミイラはレントゲン

やCTスキャンによる撮影やDNA分析が行われ、様々なことが明らかになってきました。千三百年前の瞳にはどんなものがうつっていたのでしょうか、現代の日本人や縄文人などとナスカ人との間にはどんな関係があるのか、最新の科学技術をとおしてご紹介します。



子供のミイラ

です。アンデス山脈を越えた飛行士たちが発見して以来、宇宙船の滑走路、冬至や夏至といった暦を知るため、祭祀のためなど、実に様々な説が唱えられてきました。これらの今まで行われてきた発掘調査や研究の成果を、写真パネルなどでご紹介します。実際の地上絵の「線」の上を歩いてみる

ことができるコーナーもあり、地上絵を地上から見ると、どんなものなのかを知ることができません。ここでああなたの中に新たな説が生まれるかもしれません。このほか、バーチャルシアターではコンピュータグラフィックスでナスカ平原を忠実に再現し、すべての地上絵をまるごと体感いただけます。まるでセスナ機に乗ったような気分、ナスカの地上絵を隅から隅までじっくりご覧ください。

関連イベントとして、各地の世界遺産を写真でたどる「世界遺産写真展」が十一月三十日（金）まで風土記の丘研修センターで、ナスカの地上絵を山梨の大地に再現する体験イベント「ナスカ地上絵を描く」が十月七日（日）に、その地上絵を熱気球に乗って上空から眺める「熱気球に乗って地上絵探検」が十月十四日（日）に、「ナスカ音楽の調べ野外コンサート」が十月二十一日（日）に開催されます。このほかさまざまな催し物を予定しております。

十月二十八日（日）には風土記の丘研修センターにおいて、このミイラの分析をした国立科学博物館の馬場悠男さんを講師に迎え、「ナスカミイラの謎」と題して詳しくお話をうかがう予定です。第二章は「地上絵の謎」として、皆さんもよくご存じの「ナスカの地上絵」について探っていきます。ナスカの地上絵が広く世界に知られることになったのは一九三〇年代と、意外と最近のこと

です。アンデス山脈を越えた飛行士たちが発見して以来、宇宙船の滑走路、冬至や夏至といった暦を知るため、祭祀のためなど、実に様々な説が唱えられてきました。これらの今まで行われてきた発掘調査や研究の成果を、写真パネルなどでご紹介します。実際の地上絵の「線」の上を歩いてみる

で、詳しくは県立考古博物館までお問い合わせください。

ナスカに行かなくてもまるごとナスカを知ることができ、世界で初めての本格的な展覧会です。どうぞお楽しみに。



ハチドリりの地上絵  
(写真撮影 義井 豊)

## 特集2

## 県立美術館 特別展

「プラハ国立美術館所蔵 ルーベンスとブリュウゲルの時代」展  
 「深沢幸雄展 ―いのちの根源を謳う―」

―県立美術館―

## 「プラハ国立美術館所蔵 ルーベンスとブリュウゲルの時代」展

プラハはチェコ共和国の首都で、市内中心部をヴルタヴァ川（モルダウ川）が流れています。世界文化遺産にも登録された、中世の面影を残す美しい街です。プラハ国立美術館は、ハプスブルク家出身のボヘミア国王ルドルフ二世が蒐集した絵画コレクションをもとに成立したとされます。

現在、プラハ国立美術館では、ルネサンスとバロックの作品を数多く所蔵しています。

14世紀から16世紀のイタリアを中心に、古典古代の文化を復興しようとする歴史的・文化的諸運動がおこりました。これがルネサンスです。イタリアで花開いたルネサンス美術は、均整のとれた人体や遠近法などの絵画技法を生みだしました。

一方、ベルギー、オランダ、フランスの一部を含むフランドル地方では、都市の経済的な繁栄を背景に、15世紀に初期フランドル絵画の隆盛が見られました。ていねいで細かな描写を特徴とするフランドル絵画で用いられた新しい技法、すなわち油彩画は、イタリア・ルネサンスにも影響を与えました。

たとえば16世紀フランドルの画家ピーテル・ブ

リュウゲル（父）は、驚くほど細かい細部まであらわした風俗画で知られます。同名の長男（区別するために「ピーテル・ブリュウゲル（子）」と表記します）は、父の模作を多く制作しました。次男のヤン・ブリュウゲルは、静物画、特に花の絵を得意としました。ブリュウゲル一族は、他にも多くの画家を輩出しています。彼らはのどかな田園風景、細密な描写による静物画の秀作を数多く残しています。

17世紀になると、静的で均整のとれたルネサンス絵画よりも動きのある表現が好まれるようになります。バロック絵画の登場です。人物の身振りは激しくなり、華麗な色彩が用いられるようになります。17世紀フランドルの画家ルーベンスは、躍動感溢れるダイナミックな作風を特徴とした宗教画や肖像画で知られています。

本展ではプラハ国立美術館の絵画コレクションから70点の名品を紹介します。ヨーロッパの歴史と文化と芸術をご堪能ください。



ヤン・ブリュウゲル（子）（帰属）  
 《磁器の花瓶に生けた花》  
 油彩・板 プラハ国立美術館

会 期：9月8日（土）～10月14日（日）  
 休 館 日：9月10、18、25日  
 会 場：特別展示室  
 開館時間：午前9時30分～午後5時  
 （入館は午後4時30分まで）  
 入 場 料：一般 1000（840）円  
 大・高生 500（420）円  
 中・小生 260（210）円  
 （ ）内は20名以上の団体、宿泊者割引料金  
 小・中・高校・特別支援学校生は土曜日無料

## 「深沢幸雄展 ―いのちの根源を謳う―」

深沢幸雄は、1924（大正13）年に南巨摩郡の増穂町で生まれた銅版画家です。深沢は、東京美術学校（現、東京藝術大学）に入り、卒業後は油絵を制作しました。しかし東京大空襲で右膝を痛め、その怪我が原因で関節炎を発症、右足にコルセットをつけなければならぬ不自由な生活を余儀なくされました。6年間の闘病生活の中で油絵の制作を断念した深沢は、当時ようやく一般にも広まり始めていた銅版画を独学で修得しました。

1950年代に始まる初期の銅版画は、全てモノクロームの作品です。代表的なものとして『骨疾』と名づけられた連作や、ダンテの『神曲』（『地獄篇』をモチーフにしたシリーズなど）があります。「骨疾」とは右膝の病を意味し、銅版画に表現することで作者が病と向き合い、闘っていたことをあらわしています。『神曲』のシリーズでは、ダイナミックで誇張された人物によって、人間の暗部が表現されています。

1960年代に、深沢は版画教育のためにメキシコへ渡りました。中米の強烈な日差しのもと、古代文明やインディオの歴史に触れます。このメキシコへの旅で、それまで繊細な形や線に覆われていたモノクロームの作品に、鮮やかな色彩が登場するようになります。深沢はたびたび中米を訪

れ、その旅を通して（新大陸のモンゴロイド）と呼ばれる新たなテーマも生み出されました。これは、中米のインディオも自分も、モンゴロイドを共通の祖先とするという発想にもとづき、インディオの有史以前からの歩みをあらわそうとした壮大なものでした。

1980年代以降は、ユーモラスでどこか寂しげな人間を描いた作品が作られます。こうした作品は（人間劇場）のシリーズと呼ばれています。人間をテーマに銅版画を作り続けてきた作者の温かなまなざしが作品に込められています。

本展では、銅版画に加え、深沢のガラス絵、書、パステル、陶作品なども紹介します。また、深沢が集めた中米の衣装や、交流のある版画作家の作品なども併せ、およそ160点を展示します。深沢幸雄の創作の軌跡を是非ご覧ください。

会 期：10月27日（土）～12月9日（日）  
休 館 日：11月5、12、19、26  
12月3日  
（10月は休まず開館いたします）

会 場：特別展示室

開館時間：午前9時30分～午後5時

（入館は午後4時30分まで）

入 場 料：一般 1000（840）円

大・高生 500（420）円

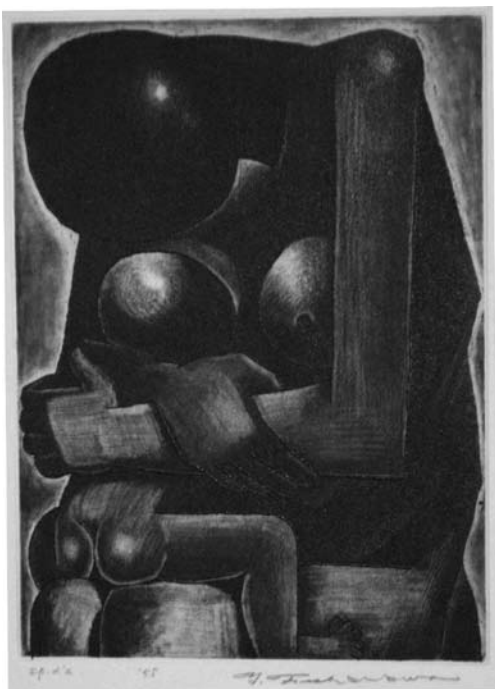
中・小生 260（210）円

（ ）内は20名以上の団体、宿泊者割

引料金

小・中・高校・特別支援学校生は土曜

日無料



《母子像A》1955年  
山梨県立美術館



## ○豊かな体験活動推進事業について

### — 高校教育課 —

「豊かな体験活動推進事業」は、推進地域や推進校を指定し、他校のモデルとなるような様々な体験活動を実施することにより、児童生徒の豊かな人間性や社会性を育んでいくことを目的とした事業です。これは文部科学省の「豊かな体験活動推進事業委託要項」に基づいて行われているものであり、

本県ではこれを「ふれあい福祉・ボランティア推進事業」「命の大切さを学ぶ体験活動推進事業」「遠くのまち体験活動推進事業」「仲間と学ぶ宿泊体験活動推進事業」の4つの事業として実施しています。

### ○上野原高校の実践例

「ふれあい福祉・ボランティア活動推進事業」については平成十八・十九年度の推進地域として身延町と上野原市を指定し、それぞれの地域の小学校・中学校・高校の1校ずつに推進校として実践活動をお願いしています。同じく「命の大切さを学ぶ体験活動」でも小・中・高の1校ずつを推進校として指定しているが「遠くのまち体験活動

推進事業」「仲間と学ぶ宿泊体験活動推進事業」については主に小学校・中学校の活動として行っているところで「ふれあい福祉・ボランティア推進事業」においては、今年度は特に交流に関わる体験活動を重視した取り組みを行うことを主眼として実践を行っています。異年齢の子どもたちが地域の方々の協力のもと同じ体験活動に従事することにより、通常の学校生活では得られない様々な教育的な成果が得られることを期待しています。

「ふれあい福祉・ボランティア推進事業」においては、今年度は特に交流に関わる体験活動を重視した取り組みを行うことを主眼として実践を行っています。異年齢の子どもたちが地域の方々の協力のもと同じ体験活動に従事することにより、通常の学校生活では得られない様々な教育的な成果が得られることを期待しています。

「ふれあい福祉・ボランティア推進事業」においては、今年度は特に交流に関わる体験活動を重視した取り組みを行うことを主眼として実践を行っています。異年齢の子どもたちが地域の方々の協力のもと同じ体験活動に従事することにより、通常の学校生活では得られない様々な教育的な成果が得られることを期待しています。



六月には同じ地域の島田小学校の児童・島田中学校の生徒と桂川河川敷の清掃活動を実施しました。本校生徒がリーダーとなり、小学生・中学生と共に教育活動を行いました。本校生徒とや

七月にはやまびこ支援学校との交流

皆で昼食をとると、今度はレクリエーションが始まりました。双方の生徒たちが考案したゲームを楽しく行いました。互いに助け合い、うまくできないペアを皆で励まし合い、とても心が温まるひとときでした。

この二つの活動に参加した生徒は、普段の学校生活では体験し難い貴重な経験をすることができたのではないかと思います。学校側が主導で計画した活動ですが、一度参加した生徒は今後このような活動に抵抗なく、いや、むしろ進んで参加できるのではないかと、生徒の感想文を読みながら強く感じました。

### ○身延高校の実践例

4月から7月までの4ヶ月間に、地域一斉清掃活動（1回は推進小中学校との交流）、環境教育に関する講演、キャリアガイダンスを行いました。

地域一斉清掃活動は、毎月第4月曜日の6校時に実施。通学路を中心とした学校周辺の道路を12のブロックに分けて、各学年4クラス、計12クラスが毎回違う1ブロックを担当するようにしています。単独行動のゴミ拾いは照

れくさくなくても、「一斉清掃」という行事名の下ならば、照れずに済ませられるのかもしれませんが。実際、側溝に飛んで入り、錆び付いたスチールの空き缶や泥だらけのプラスチック容器を黙々と回収する男子の生徒もいました。また、地域の要望に応えて、2年生は町総合文化会館の植え込みの雑草除去作業を行いました。しかし、学校から遠くなるにつれて、活動場所への移動時間が活動時間をそれだけ減らしてしまいます。短時間でも、効率的な清掃活動の実施が望まれる所以です。

7月11日（水）は地域一斉清掃活動の第4回が行われ、その折、1年生の1クラスが推進小中学校の児童生徒と一緒にプランターに花を植える予定でした。ところが、当日は午前中に雨が降って、清掃活動は中止。小中高生交流の予定会場であった久那土小学校のグラウンド上空も再び降り出しそうな微妙な状態であったため、やむを得ず内容を変更してドッジボールで交流を図りました。植花活動のため予め編制していた（例えば、小3人・中2人・高3人）班を2つ合体させて、1

チーム作り、1組の男女高校生が全体

のリーダーとなって、全5チームによるリーグ戦を進めました。途中から1ゲームの時間を短縮したり、ボールの数を倍にしたりして、全対戦を無事終了。閉会式では、それぞれの学校から1名ずつ代表者が前に出て、感想を発表した。それらを聞いて、参加者は誰も彼も心から楽しみふれあえたに違いない、という思いを強くしたものです。



なお、当日植えられなかった花の苗はその日のうちに各学校に運ばれて、それぞれの場所でプランターに移し替えられています。身延高校では、夏休み前の最後の1日の放課後に、環境整備委員と社会福祉委員の1年生がその作業を行いました。今、学校前の旧国道52号の歩道を飾っているのが、その花々です。



# 新たな入学者選抜に関する意識調査結果報告

## — 新しい学校づくり推進室 —

### 調査概要

「平成19年度山梨県公立高等学校入学者選抜に関する意識調査」は、今後の入学者選抜の改善のための資料を得ることを目的として、平成19年度入学者選抜から導入された前期・後期募集制度を経験した全日制公立高校（甲府市立甲府商業を含む）の1年生とその保護者の全てを対象に、平成19年4月に実施した。

○調査項目数 「前期募集についてどう思うか」 外13項目

○調査対象 単位：人、%

	調査対象	回収数	回収率
高校1年生	6,849	6,795	99.2%
保護者	6,849	6,729	98.2%
計	13,698	13,524	98.7%

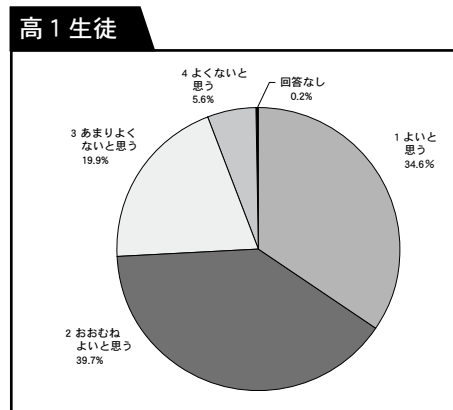
○調査方法 悉皆調査（各高校を通じて実施）

### 調査結果

○生徒の約74%は前期募集に肯定的な生徒で前期募集を「よいと思う」は約34%、「おおむねよいと思う」

が約40%で、否定的な回答の約26%に比べて今回の入試制度改革を支持する割合が高かった。

保護者では、「よいと思う」約20%、「おおむねよいと思う」約35%と過半数が肯定的な回答であった。



### ○前期募集に肯定的な主な理由

生徒の回答で多かったのは、「自分の得意分野で希望する高校に複数回チャレンジできる」であった。

### ○前期募集に否定的な主な理由

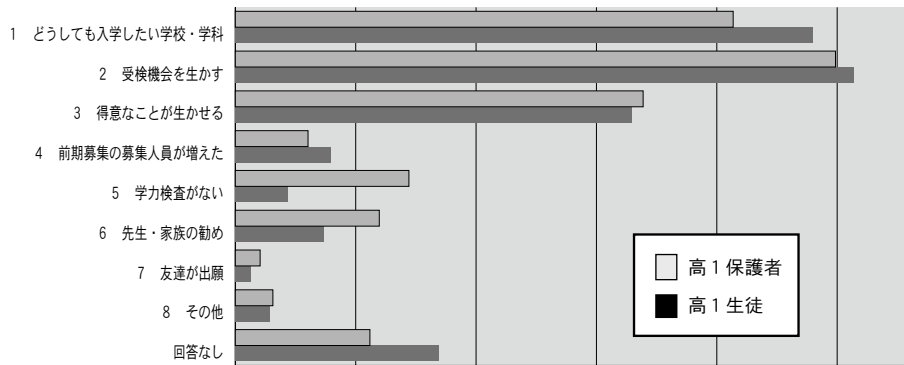
生徒の回答で多かったのは、「合格の予想がつきにくい」、「不合格者がたくさん出る」、「出願の条件

がわかりにくい」であった。

○前期募集に出願した主な理由  
生徒の64%が前期募集に出願しており、「どうしても入学したい高校」への受検機会が拡大したことを支持している。

### ○生徒は、前期募集不合格を比較的冷静に受け止めている

生徒の約45%が「ショックをバ



「教育方針、志願してほしい生徒像、前期募集選抜方法」利用状況  
生徒の約70%は何らかの形で志望校決定の参考にしてはいるが、参考にしていないと回答した生徒も約30%あったため、さらに利用を促進させる工夫が必要である。

### まとめ

新たに導入した前期・後期募集制については、多くの生徒や保護者から肯定的な回答があり、今回の入試制度改革に対する支持が得られた反面、前期募集で「出願の条件がわかりにくい」といった回答もあったことから、今後とも自己推薦による前期募集の趣旨や高校の求める生徒像などについて一層理解が得られるよう内容の改善や周知を図る必要がある。

### 調査結果の公表

山梨県教育委員会の新しい学校づくり推進室ホームページで公表している。



# ○やまなし総合型スポーツクラブフェスタ

—スポーツ健康課—

## 《やまなし総合型スポーツクラブフェスタとは》

県内の総合型地域スポーツクラブ相互の交流を図るとともに、県民の皆様に、総合型地域スポーツクラブの発表の場としてスポーツ教室等を開催して県民のスポーツへの参加を促し、クラブ間の交流を図ることを目的とするものです。

また、既存クラブの活動紹介や、設立支援など総合型地域スポーツクラブに関する相談コーナーを設置し、総合型地域スポーツクラブの普及・啓発を推進することを目的に開催するスポーツイベントです。

## 《総合型地域スポーツクラブってなに》？

人びとが「いつでも・どこでも・誰もが」、手軽にスポーツを楽しむことができる生涯スポーツ環境を実現するためには、スポーツの活動拠点を地域に求めることが必要となってきました。

①多項目（複数の種目）のスポーツを、②多世代（様々な年齢）の人々が、③様々な技術・体力レベルに応じて、いつでも行えるところが、総合型地域スポーツクラブです。

## 《クラブフェスタの内容は》？

○開催日時：平成十九年十月七日（日曜日）

午前十時から午後四時まで

○会場：小瀬スポーツ公園 体育館

○参加料：無料

○開催内容：①スポーツ教室体験

（既存スポーツクラブが日頃行っているプログラムへの参加体験）

②クラブ発表会（特色あるクラブの活動発表会）

③クラブ相談・紹介コーナー

（総合型クラブに関する相談や既存クラブの活動状況の紹介）

○協力：県内十二の総合型地域スポーツクラブ

○申し込み：山梨県広域スポーツセンターまで

電話でお申し込み下さい。

TEL 055 (243) 3164



# なかとみ・ゆずりはら青少年自然の里紹介

## — 社会教育課 —

「山梨県立なかとみ青少年自然の里」は、山梨県の教育の推進拠点として、昭和六十二年度にオープンし、今年度二十周年を迎えました。自然の里では、日頃学校や家庭で経験できない自然観察や自然体験、集団宿泊生活等を通して、自律・責任・協力・友愛・奉仕等の尊さを学び、ふるさとを愛するたくましい心豊かな青少年を育てることを目的に運営しています。

す。その他に、郷土食作り・草木染め・七宝焼き・篆刻（てんこく）などの手作り体験やオリエンテーリング・グリーンアドベンチャーなどの自然体験も用意されています。

「山梨県立ゆずりはら青少年自然の里」は、青少年の健全育成を図るため、平成十年度に開設された山梨県内で四番目の自然体験施設です。

「郷土料理」などを設定し、昨年度からは「感謝祭」をオープンデーと連動して企画し、地域との交流も始めました。また、自然塾の内容は毎年変わりますが、冬期の御来光登山など特色あるプログラムを用意しています。

そのほか、地域交流館では上野原名物酒まんじゅう作り体験ができます。郷土食である酒まんじゅう作りは人気プログラムの一つです。



創立20周年記念事業  
少年少女ふるさと体験教室  
手漉き和紙で団扇をつくろう！



「ちょっと体験！」陶芸



『自然や人、地域とのふれあい』の

敷地内には、キャンプ場・体育館と

工房があります。工房で行われる手漉き和紙作りと陶芸作りには、和紙職人と陶芸家の方を講師にお招きして、色紙、はがきやカップ、お皿など世界に一つしかない作品を作ることができま

年間を通して数多くの主催事業も行っています。少年少女、親子を対象とした日帰りや一泊の事業、小学生以上を対象とした「ちょっと体験」シリーズでは、専門の講師に依頼して本格的なものづくりを行っています。

ぜひ一度、富士見山麓の雄大な景観の中に設置された、宿泊棟、キャンプ場、体育館、伝統工芸工房などで、心に残る体験活動や集団宿泊生活を楽しみにお越しください。

中で自律・責任・協力・友愛・奉仕等の尊さを体験的に学習させ、ふるさとを愛するたくましく心豊かな青少年を育成するため、四季を通じての自然塾や年間会員制の「さとっ子クラブ」などの主催事業を企画、運営しています。

さとっ子クラブは、毎月一回地元の小学生に自然体験・生活体験を提供するプログラムで、今年度で六年目を迎えます。地域密着型として、四季に応じた「野鳥観察」「川遊び」「アスレチック



朝は野鳥の囀りで目覚め、夜は満天の星空を眺める。そんな自然の中でリフレッシュしてみませんか。ゆずりはら青少年自然の里にぜひ一度お越し下さい。

# 富士山世界文化遺産 暫定リスト登載記念特別展 北斎と広重 ふたりの富嶽三十六景

北斎の「富嶽三十六景」、広重の「不二三十六景」「富士三十六景」の全作品約百二十点を一挙公開

— 県立博物館 —

人々の心を惹きつけてやまない富士山。日本人はその壮麗な姿を崇拜し、時には火を噴く荒ぶる神として畏敬の念を抱き、厚い信仰を寄せてきました。そして、繰り返し美術や文学の題材としてとりあげてきました。

古代から現代に至るまで、富士山はさまざまに描き続けられています。葛飾北斎が描いた「富嶽三十六景」四十六枚のシリーズ、中でも「赤富士」と呼ばれる「凱風快晴」は、世界で最も親しまれている富士図といっても過言ではありません。夏の早朝、朝日によって赤く染まる瞬間の表現と、富士のみをとらえた大胆な構図は、当時たいへん画期的なものでしたが、今でも私たちに新鮮な驚きを与えてくれます。

実は、風景版画のもう一人の巨匠、歌川広重も「不二三十六景」三十六枚、「富士三十六景」三十六枚の二組ものシリーズを刊行しています。ふたりの富士図は、いずれも眺める場所と季節、時間によって移り変わる富士の姿をとらえ、富士に対する厚い敬慕と愛着が伝わってきます。しかしながら、富士という同じ題材だからこそ、二人の個性の違いがはつきりと現れています。

北斎の富士図は、視点の位地や色彩の効果を吟味し、様々な仕掛けで視覚に訴えて、富士の見せ場を演出しています。富士は、自らの構成力を試す最良の素材であったのでしよう。これに対し、広重の富士図は、実際の景観の風情を大切にした



北斎「甲州三坂水面」

自然な表現と、豊かな叙情性で、富士の見える風景として描かれています。

例として二人がともに描いた御坂峠（富士河口湖町・笛吹市）からの富士と河口湖の眺めを見てみましょう。

北斎の「甲州三坂水面」は、一見静かで穏やかな景観ですが、

よく見てみると実体の富士は夏山で、湖面に映る逆さ富士は雪を戴いており左にずれています。奇抜な発想と巧みな構成力がよくわかる作品です。一方、広重の「甲斐御坂越」は、峠を登りきつて眼に飛び込んできた雄大な景色を旅人の目線で描いています。絵を見る者に、絶景を眼にしたときの驚きと感動を追体験させてくれます。

他にも二人のシリーズには甲斐の国から見た「裏富士」が含まれています。犬目峠（上野原市）、籠坂峠（山中湖村）など街道の峠の様子、夢見山（甲府市）から見た甲府城、鯉沢の富士川の荒波、身延川の流れ、石和宿の朝。江戸時代の甲斐の国の記録です。ふたりの三十六景は、描き込まれた名所旧跡、村落の暮らし、旅の風俗、季節感など、当時の文化やくらしに関する情報が豊富に盛り込まれています。そして、当時の人々が富士山をどのような存在とと考えて、どのようなイメージを持っていたかを伝えてくれる貴重な資料なのです。



広重「甲斐御坂越」

## 《開催期間》

平成十九年十月十三日(土)～十一月十八日(日)

一般一〇〇〇円、高校・大学生五〇〇円 小・中学生二六〇円

《お問い合わせ》

山梨県立博物館 〇五五・二六一・二六三一



## らくがき

## 感動の「資格」

望月 公

特別支援教育に携わっている教師の中には、担当する子どもたちの些細な成長に対する喜びや嬉しさを、過剰に表現する者が多いと感じたことはないだろうか。「色や形の分類ができた」「箸を使うことができた」「集会に落ち着いて参加した」などのことで、私の同僚も大喜びする。

一人の子どもの一つの課題を解決するために、迷い、悩み、試行錯誤しながらひたむきに取り組み、ある日やっと小さな発達の芽を見つけて開花まで導く。教師が努力するこの過程の長さや深さの量と質に応じて、喜びや嬉しさが比例するのだろう。「当然できるもの」という意識では、決してこの思いを味わうことができないのである。

特別支援教育が始まった。小・中・高等学校など全ての学校で、困難を感じている子どもたちに対応する教育である。何学年でも〇〇ができるという「できる基準」を「できない基準」からスタートすると、できないことを子どものせいにすることなく、教師のやるべきことが見えてくる。これは校種に関係なく、我々の本来の姿勢だろう。子どもたちの成長に感動したい。そして感動させてもらえるような教師でいたいと思う。

(かえで支援学校)



## 「禁煙挑戦中」

片田 憲生

30年に及ぶ喫煙生活に終止符が打たれようとしている。夏休み前に、共済組合主催の禁煙講座の案内が目に入った。来年から敷地内禁煙が始まることもあり、かねてから気にかけていた禁煙に取り組むことにした。禁煙講座では、たばこの害や禁煙パッチについて説明を受けた。講座が終了し解散するときに、参加した先生方と頑張りましょうと堅く握手をして別れた。

喫煙が身体に悪いことはよく分かっている。周りに迷惑をかけていることも分かっている。たばこは吸わない方がいい。そんなことは分かっているのだが、大方の喫煙者は止められないのだ。

あれから2週間。まだ、誘惑との格闘中である。長年に渡り蓄積されたニコチンは、簡単に脱けていかない。何時でも吸いたい、でも吸ったら今までの苦労が無になるような気がして我慢する。食後や仕事が一段落すると自然と喫煙室に足が向かおうとするが、近くを流れる沢の清流を眺めて気を紛らわす。□が寂しく、いつもなら見向きもしない、饅頭やお菓子の類に手が伸びる。禁煙開始2週間。体重が3kg増えた。今度こそ止められそうな気がする。

(峡南高校)

## 【山梨県学力向上拠点校公開研究会一覧】

これまで推進してきた「山梨県学力向上拠点形成事業」における実践研究等の普及を図るため、各推進校（拠点校）では、公開研究会を開催しています。皆様方の参加をお待ちしています。

なお、参加されたい方は、事前に各推進校にお問い合わせください。

\* 公開の詳細及び山梨県学力向上拠点形成事業については、ホームページを御覧ください。

<http://www.kai.ed.jp/kyoten/index.html>（義務教育課のホームページからも入れます。）

地区	学校名	公開教科	公開日時
峡東	笛吹市立富士見小学校	算数	11月14日（水）13:30～17:00
	山梨市立山梨南中学校	全教科	6月22日（金）13:30～16:45
峡南	市川三郷町立市川小学校	算数	11月16日（金）13:20～16:50
	市川三郷町立市川中学校	国語、社会、数学、理科、英語	11月22日（木）12:30～16:15
峡北	韮崎市立韮崎小学校	国語、算数	10月25日（木）13:15～16:30
	北杜市立長坂中学校	全教科	11月9日（金）13:00～16:30
峡中	中央市立田富北小学校	算数	11月9日（金）13:00～16:30
	南アルプス市立甲西中学校	全教科	11月8日（木）13:00～16:35
富士	富士河口湖町立船津小学校	算数	11月7日（水）13:00～16:45
東部	大月市立大月東中学校	国語、社会、数学、理科、英語	11月2日（金）13:15～16:45
甲府	甲府市立湯田小学校	国語、算数、理科、体育	11月16日（金）12:30～16:45
	甲府市立石田小学校	国語、算数	11月7日（水）12:45～16:40

\* 6月に公開研究会を開催した山梨南中学校の資料や成果等については直接学校へお問い合わせください。



## 座学を生きる力に結びつける米作り・野菜作り

### 富士河口湖町立河口小学校

本校は、河口湖の北岸に位置し、日々、富士山を仰ぎながら140名の素直な児童が勉学に励んでいます。

河口は、昔から米作りの盛んな地域で、本校でも昭和53年『勤労体験学習研究校』の指定を受けて以来、水田495㎡と畑900㎡を使って作物の生産活動を毎年行っています。本校の生産活動は、さまざまな教科で学んだことを『生きる力』へ高めていく上で大変重要な役割をはたしてきました。

最近では、学年ごとに年間の生産活動での重点項目を決めた取り組みを充実させています。例えば『食教育』の観点から自分たちの作った野菜を調理して食べる授

業を展開したり、ゲストティーチャーを招いて郷土食を作ったりしています。また、『福祉教育』の観点から自分たちの作った野菜と手紙を携えて地域のお年寄りの家を訪問するなどの活動も行っています。

今年度からは『ふるさとやまなし道徳教育推進事業』の指定を受け、豊かな体験活動を道徳教育の中にどのように位置づけていくかの研究も本格的にはじめられました。

地域の力を生かした地道な教育が子どもたちの確かな力になることを実感している毎日です。



<稲刈り>



<ほうとう作り>

## 『和』

### 韮崎工業高等学校

「よき技術者となるまえにまずよき人間となれ」を信条として、産業界の推進力となり、国際社会に貢献できる技術者の育成を目指しています。

\* 「6学科一括募集」「総合選択制」の実施

\* 「2学期制」「ミックスホームルーム」の実施

工業教育の専門高校としての歴史と伝統を誇り、常に時代の変化に柔軟に対応し、社会が求める人材の育成に努めてきた本校は、さらに社会の変化、地域の期待、生徒の希望に応えるため、今、「新しいタイプの工業高校」として生まれ変わりました。

#### ○一括募集と総合選択制の実施

工業の勉強に興味はあるが、志願時に学科の選択に迷いを持つ生徒のために、一括募集を実施しています。1年次の前期で工業の基礎を学び、後期からは各系列の専門科目を選択履修します。2、3年次には、各自の適性・進路に合わせた科目の選択ができます。

#### ○就職にも進学にも強い専門高校

企業での実務経験を積んだ教員が多く、特色ある専門の学習をすることができます。マシニングセンター、ロボット、省エネカー、電気工事士、コンピュータ、電子顕微鏡、環境測定等興味のあることに挑戦できます。



韮崎工業高校校舎



韮崎工業レスリング部



# 学校教育に寄与する調査・研究を目指して

山梨県総合教育センター 研究開発部

研究開発部は、本センターの目標である「学校教育を支援する、確かな情報発信源としての教育センター」を受け、学校の現状に即した今日の教育課題を把握し、調査・研究及び指導計画や指導法等の研究・開発を行っています。また、研究成果を学校現場等に提供し、本県学校教育の推進と充実に寄与していくことを目指しています。本年度も、主事研究、教育課程実施状況調査、特別プロジェクト、一般留学生研究、教育情報の提供を推進しています。

## ○主事研究について

『「生きる力」をはぐくむ実践的な研究』を主事研究のテーマとし、今日的教育課題等を踏まえ、研究に取り組んでいます。各グループで共通のテーマを掲げ、多くの先生方に活用していただけるよう具体的な研究を行っています。現在、研修主事は、「読解力向上に関する研究」「暴力やいじめの予防に関する研究」「特別支援教育に関する支援体制促進のための実際的な研究」「学校における情報化促進のための教育ネットワークソリューション有効活用に関する研究」のテーマ（仮題）のもと、研究を進めています。その研究成果を学校現場に還元していただけるよう研究発表会を、平成二十年二月二十一日に行います。多くの教育関係者の方々に来所いただき、御意見等いただけたら幸いです。

## ○教育課程実施状況調査について

この調査は、今後の学習指導の改善に役立てることをねらいとしています。本年度は、特に「確かな学力」ステップアップ事業等と連携を図り、調査結果の分析・考察を行い改善策等を検討します。調査結果の報告は、研究発表会で行うとともに報告書（CD）を各学校等に配布する予定です。

## ○特別プロジェクトについて

本年度は、昨年度の算数プロジェクトの成果を踏まえ、学校現場の先生方に御協力をいただく中で、授業実践を通じて算数科における授業改善の手立てを具体的に探っていきたいと思います。

## ○一般留学生研究について

教員としての指導力の一層の向上を目指し、研究が進められています。本年度は、五名の一般留学生が各自の研究課題に基づき、現場での授業実践に備え、自己研鑽に励んでいます。その成果は、センターの研究発表会の折に報告する予定です。

## ○教育情報の提供について

センターホームページでは、学習指導案、県下各校の研究主題、センターの研究紀要等を公開しています。また、教育関係図書情報などもホームページの「教育情報データベース」から検索すると必要な情報が得られます。御活用ください。

## ミュージアム甲斐 in 券（4館共通定期観覧券）の販売を開始しました。

県立美術館、県立博物館、県立考古博物館、県立文学館の4館では、購入した日から1年間、常設展・企画展（特別展）を何回でも観覧できる、「ミュージアム甲斐 in 券」（4館共通定期観覧券）を販売しています。どうぞご利用下さい。

なお、各館の「年間パスポート券」をお持ちの方が、「ミュージアム甲斐 in 券」に乗り換える場合には、有効期間に応じ、割引のお取り扱いをしますので、年間パスポートをご持参の上窓口でお申し出下さい。

（観覧券の価格）

区分	料金（円）
一般	5,000
大・高生	2,500
中・小生	1,250

●お問い合わせ先／ 学術文化財課 TEL 055-223-1790  
 県立美術館 TEL 055-228-3322  
 県立博物館 TEL 055-261-2631  
 県立考古博物館 TEL 055-266-3881  
 県立文学館 TEL 055-235-8080

## 新委員長に

### 輿石順一氏が就任

県教育委員会では、井上一男教育委員長の任期満了に伴い、七月十七日の教育委員会において、後任の第六十九代委員長に輿石順一氏を任命しました。新委員長の任期は平成十九年七月十七日から平成二十年六月二十日までです。

昨年十二月、「教育基本法」が六十年ぶりに改正され、新たに「公共の精神」の尊重、「伝統の継承」を規定するなど、新しい時代の教育の基本理念が明示されました。また、今年六月には、『学校教育法』などのいわゆる教育関連三法案が可決され、教育再生が最重要課題と位置づけられ、改革がすすめられています。

県教育委員会においては、子どもたちの個性を大事にしながらか、「確かな学力」と「豊かな人間性」を身につけ、変化の激しい時代をたくましく生き抜いていく人間の育成を図るために、少人数教育の拡



委員長  
輿石順一

充など教育環境の整備に努めるとともに、子どもを持つ親の教育力の向上に資するため、「やまなし親学習プログラム」を作成するなどの取り組みをしてまいります。

また、本年度、県立高校において、新たな入試制度を実施しましたが、今後も改善を行い、県全体の教育の活性化に努めていきたいと思ひます。

教育をとりまく環境は、少子・高齢化、情報化、価値観の多様化等様々な課題に直面していますが、子どもたちや教師がともに生き生きと教育活動ができるような環境の整備に努めたいと思ひます。

## 新委員に

### 渡邊努氏が就任

県教育委員会では、井上一男教育委員の任期満了に伴い、後任の教育委員として渡邊努氏が知事から任命されました。新委員の任期は平成十九年七月十七日から平成二十三年七月十六日までです。

戦後わが国は高度な技術革新と驚異的な経済成長を遂げてきましたが、これには教育が大きく寄与してきました。一方、ややもすると知識偏重の戦後教育のなかで失われてきたものもたくさんあります。いじめ、自殺、凶悪犯罪の低年齢化など、子どもに関わる事件や問題が多発していますが、そこには物質至上主義がまかり通り、心の豊かさがおざりにされ、個人が優先する今の世相が反映されています。



委員  
渡邊努

今こそ日本の良き伝統を受け継ぎ、郷土を愛し、他人を思いやり、支えあうことのできる社会の実現のために、知徳体のバランスの取れた人間形成を目指す教育が求められています。

これまでも教育に関する諸問題に携わる機会が何度かありましたが、その経験や長年の企業経営者としての人づくりの知恵を生かし、本県の教育振興に微力を尽くして参りたいと考えております。

## 『図書館員の道具箱…サプリメントについて調べる…』

山梨県立図書館

現在、サプリメントなど、手軽に取ることでできる健康食品が増えています。サプリメントを利用する前に、安全な摂取量とその効果、成分の信頼性などについて、調べてみませんか？

◆ サプリメントの成分・素材名から調べてみましょう

『健康食品のすべて ナチュラルメディスン・データベース』(同文書院 2006)

『機能性食品素材便覧』(薬事日報社 2006)

◆ 自分の症状や効果・効能から調べてみましょう

『サプリメント事典』第2版(平凡社 2007)

◆ 安全性について調べてみましょう

『健康食品・中毒百科』(丸善 2007)

※他にも、たくさん資料がございます。詳しくは『山梨県立図書館総合情報誌 Catch 第53号』(<http://www.lib.pref.yamanashi.jp/tosyokan/catch/catch53/catch53-1.html>) をご覧ください。



# 山梨の文化財

## 県指定有形文化財（歴史資料）

### 柳澤吉保・定子関係資料一括（恵林寺）

（平成十九年四月二十六日指定）

本資料は、宝永元年（一七〇四）から六年間甲府藩主であった柳澤吉保と正室定子夫妻の所用具と、柳澤吉保が菩提寺として建立した永慶寺に寄進されていた道具類・経典類等です。

吉保隠居後、家督を相続した吉里の代に、甲斐から大和郡山への転封に際し、永慶寺が破却されることになり、夫妻の遺骸が恵林寺へ改葬されると共に、夫妻の所用品等とともに、永慶寺に寄進されていた品々も恵林寺に寄進されました。

遺存する品は、武器類、膳具、化粧道具、香具類、追悼和歌、手鑑、経典類、銅鐘などで、寄進に当たり作成された寛帳等に記載されています。記載品の多くは失われ、遺存する品はその内の約五分の一ですが、概ね保存状況は良好です。

本資料は、甲斐国十五万石の大名であり、幕府内において重きをなした柳澤吉保の地位と如実に反映しており、工芸資料としても注目されています。



鉄錆地桶側胴具足（兜）



菊唐草蒔絵化粧道具（牡丹唐草四ツ花菱紋葛紋蒹紋蒔絵盥）

## 主な行事予定

### 考古博物館

■考古博物館開館25周年記念  
「世界遺産ナス力展」

10/10～11/30

### 県立美術館

#### 特別展

プラハ国立美術館展 ルーベンスとブリュッゲルの時代

9/8～10/14

「深沢幸雄展—いのちの根元を謳う—」

10/27～12/9

### 県立博物館

■富士山世界文化遺産暫定リスト登載記念特別展

「北斎と広重 ふたりの富嶽三十六景」

10/13～11/18

### 県立文学館

#### 企画展

宮沢賢治 若き日の手紙  
—保坂嘉内七十三通—

9/29～11/25

## 表紙を飾る



山梨県立あけぼの支援学校  
小学部5年 木岡 勇

### 作品タイトル

「もう一度やりたい宿泊学習～花火大会～」

あけぼの支援学校では、6月に小学部4・5学年9名で宿泊学習を行いました。勇君が宿泊学習で一番楽しかった「おやすみの会でみんなでした花火大会」を描きました。この絵の製作にあたっては、人物の身体の形を写真や実物と同じように描くことに注意したそうです。首の横から肩・長い腕が伸びていること、手には5本の指があること、Tシャツの下には離れずに長い足が伸びていること等々を再確認しながら苦労して一人ひとり描きました。

指導者 西 愛子 教諭

## 「声かけ あいさつ」みんなで実践!!

◆教育に関する疑問、質問等がありましたらお気軽に E-mail 又は FAX して下さい。

アドレス: [kyouikusom@pref.yamanashi.lg.jp](mailto:kyouikusom@pref.yamanashi.lg.jp) FAX: 055 - 223 - 1744

◆教育やまなしのバックナンバーがインターネットでご覧いただけます。

URL: <http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyouiku/46150769857.html>